

平和条約をモチーフにした貴族の結婚記念金メダル

フランス 1845年 ローラン・ルイ・セプティム伯爵/イザベル・ド＝ガール＝ド＝クルセル
結婚記念 金メダル MS61

【発行枚数】 不明【サイズ】 42.00mm/61.33g【希少性】 ★★★★★

【ご案内価格】 ASK *** 2025年11月中旬入荷予定 ***



当該金メダルに関して

当該金メダルは、ルイ15世の名の下に1748年10月に締結されたアーヘンの和約（オーストリア継承戦争を終結させる為の講和条約）締結記念金メダルのデザインをそのまま使用した、ローラン・ルイ・セプティム伯爵とイザベル・ド＝ガール＝ド＝クルセルという貴族の結婚金メダルである。

スラブに記載のPEACE OF AIX-LA-CHAPELLEとはフランス語で「アーヘンの和約」を意味する。

ルイ15世 (Louis XV)

在位：1715年9月1日 - 1774年5月10日
生没：1710年2月15日 - 1774年5月10日（64歳没）



祖父ルイ14世の死を受けて5歳で即位し、「愛されし王（le Bien-Aimé）」と称されたフランス国王である。

59年という長い治世は絶対王政の最盛期から衰退への転換点にあたり、王権の栄光と陰りを同時に内包していた。

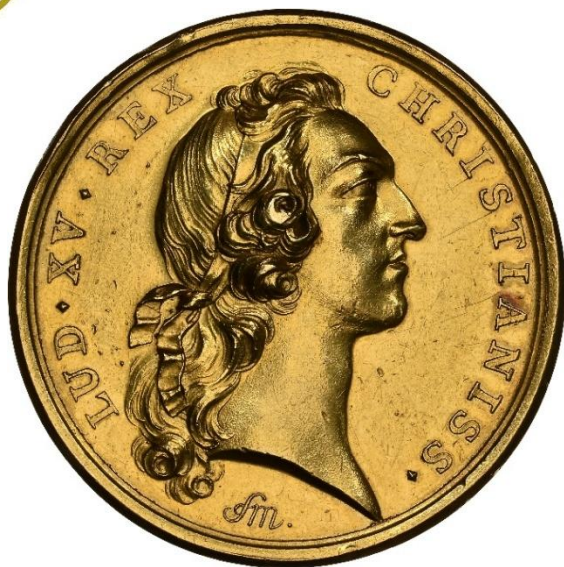
若年期には宰相フルーリー枢機卿のもとで内政が安定し芸術と科学が栄えたが、やがてヨーロッパの列強との覇権争いが再燃する。

1740年に勃発したオーストリア継承戦争ではフランスはプロイセン側として参戦し、戦費の膨張に国庫が疲弊。最終的に1748年にアーヘンの和約が締結され戦争は終結した。

この条約により、フランスは領土的利益を得なかったものの、ヨーロッパに一時の平和をもたらした。

この和約を記念して発行された金メダルには、「SALUS GENERIS HUMANI（人類の救済）」の文字と平和の女神パックスが刻まれ、王が戦を終わらせた「平和の守護者」であることを示している。

ルイ15世の治世は贅沢と政治腐敗が進行し、のちの革命への伏線ともなったが、外交と芸術の面では18世紀フランスの洗練を象徴する時代であった。



表面：ルイ15世の肖像

LUD・XV・REX CHRISTIANISS. (神の庇護により洗礼されしルイ15世)

裏面：中央には光を背に受けた平和の女神パックスが玉座に鎮座し、周囲には戦の象徴である武具や旗が静かに置かれている。

SALUS GENERIS HUMANI (人類の救い)

PAX AQUI GRANENSIS XVII OCTOBRIS MDCCXLVIII

(1748年10月18日に締結されたアーヘンの和約)



平和の女神パックス (PAX)

静の女神であるパックス。

力によって平和をもたらすのではなく、理解と慈愛によって国を鎮める存在として表現される。

ギリシャ神話のエイレーネと同一視され、オリーブの枝、笏、コルヌコピア（豊穡の象徴）などを携える姿で表現される。

帝政ローマでは「Pax Romana（ローマの平和）」という言葉が広まり、戦乱を鎮める皇帝の徳を象徴する存在となった。

この概念は後世のヨーロッパ君主制にも受け継がれ、王権の正当性と慈愛を表す理想像としてたびたびメダルや絵画に登場した。

ルイ15世の胸像が「威厳」を表すなら、パックスは「優しさ」を象徴する。

その対比によって、王権の理想が戦の勝者ではなく、平和を授ける者として表現されている。

オークション落札実績 (落札価格/日本円落札価格+手数料)

なし

鑑定枚数表

鑑定会社	タイプ	40	45	50	53	55	58	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	MS																		0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	MS								1										1
NGC トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鑑定会社2社の合計		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1